

平成27年度会員大会を盛大に開催！

Neigiccoも熱演、盛り上げに「役」！

平成27年度会員大会を10月26日、ホテルイタリヤ軒において382名の会員参加のもと開催しました。第一部では、経済ジャーナリストの須田慎一郎氏が「どうなる地方経済！」中小企業は景気回復を実感できるのか」をテーマに講演し、第二部は福田会頭挨拶の後、来賓の泉田裕彦新潟県知事並びに古木岳美新潟市副市長から祝辞をいただきました。その後は交流パーティが行われ、古町芸妓連の踊りとNeigiccoのミニライブで会場を盛り上げました。

〈須田氏講演会要旨〉

残念ながら、現状においては景気回復を実感することはできないし、また、今後も10数年では回復しないと思われる。1993年3月に崩壊した「バブル景気」を境に、日本経済の構造が大きく変革して、第二次世界大戦後に日本経済に訪れた合計8回の景気拡大期の成功体験が、ほとんど通用しなくなったからことに起因している。



挨拶する福田会頭

しかし、ほとんどの人々が景気回復を実感することができない中において、業績が上がっている一部の企業がある。それらの企業の共通点は、「先を見据えた対策」を取ることができていることである。アベノミクスと呼ばれる現在の政策は、円安を誘導し輸出を回復させるなどの環境整備が主となっており、このことを理解して活用できる企業こそが景気回復を実感できるのではないかと考える。

安倍首相が新たに掲げた「一億総活躍社会の実現」の狙いは「世帯ごとの収入を増やす」ことにある。個人ではなく世帯ごとの収入を増やすことによって、日本全体の個人消費を増やすという考え方が基本にあり、特に「退職した中高年、女性、障がい者」を中心にテコ入れを図っていくと考える。

安倍首相が新たに掲げた「一億総活躍社会の実現」の狙いは「世帯ごとの収入を増やす」ことにある。個人ではなく世帯ごとの収入を増やすことによって、日本全体の個人消費を増やすという考え方が基本にあり、特に「退職した中高年、女性、障がい者」を中心にテコ入れを図っていくと考える。

〈福田会頭挨拶要旨〉

景況については、緩やかな回復基調であると言われているが、地方の中小企業にとっては仕入れ価格や人件費の上昇など厳しい経営環境が続いている。須田先生がおっしゃったとおり、地方においては、まだ景気回復を実感するに至っていないという状況である。

地域の発展には、経済の好循環による持

続的な成長が必要で、それには、地域経済と雇用を支える中小企業の経営環境改善と、中心商店街の活性化をはじめ観光振興や都市基盤整備を強力に推進することが重要と考えている。

消費税の軽減税率を巡る協議が急ピッチで進められているが、商工会議所としては、軽減税率は社会保障財源の減少を招く他、対象品の線引きの問題や、多大な事務負担を強いられることから、断固反対の立場をとっている。

昨年度に引き続き、会場正面に掲げた5本柱のスローガンのとおり新潟地域の発展と地元企業の繁栄に向けて、様々な事業に取り組んで参りたい。当所の会員数はパワーアップ5000推進委員会や会員各位のご紹介などにより、10月26日現在で4394社である。皆様には大変感謝申し上げるとともに1日も早い5000会員達成のため引き続き皆様からのさらなるお力添えをお願い申しあげる。

〈会員大会スローガン〉

- ・ 中小・小規模企業の経営力向上と持続的発展の推進
- ・ 中心市街地・商店街の再生と魅力あるまちづくりの推進
- ・ 魅力度向上に向けた地域振興事業の推進
- ・ 地域経済の発展に向けた提言・要望活動の実施
- ・ パワーアップ5000運動の一層の推進

産業活性化に向けさらなる

産・学・官・金の連携強化を！

当所では10月13日、産学官連携を推進するため、「産学官」に金融機関の「金」を加えた「にいがた産学官金連

携推進ネットワーク」を立ち上げ、同日に情報交換会を開催しました。

本ネットワークは、当所の政策委員会（田巻清文委員長）が昨年9月に取りまとめた「新潟の産業活性化に向けた産学官連携の強化に関する提言」の具現化のための取り組みのひとつとして、当所が関係機関に声かけを行ったものです。

当日は、ネットワークを構成する当所、新潟県、新潟市、新潟県工業技術総合研究所、（公財）にいがた産業創造機構、（公財）新潟市産業振興財団、新潟市内に所在する大学、銀行等の関係者が一堂に会し、事例発表と活発な意見交換が行われました。

今後は、情報の共有化と発信力の強化、交流促進による人脈の拡大などを図るための活動を行っていくこととされています。



情報交換会のようす

にいがたBIZ EXPO 2015

10月22、23日の2日間、新潟市産業振興センターにおいて「にいがたBIZ EXPO 2015 技の陣 モノの陣」が開催され、2日間で計9、534名が来場、187社・団体が出展しました。その中で、工業部会員企業10社が当所助成金を活用して出展し、販路開拓に向け、自社製品のPRや新規顧客獲得のための情報収集に努めました。

さらに、工業部会（渋井信之部会長）は、部会活動の一環として、10月23日の開催に合わせ、東京大学大学院の中尾政之教授を講師に迎え、講演会を開催しました。中尾教授は「過去に前例の無い『まさか』と思うような事故に對しては、自らシナリオを設定し論理的に考えることで、対策を立てることができる」と説明しました。



講演する中尾政之教授

外国人技能実習生制度を研究

国際ビジネス研究会

当所では、ジェット口新潟との共催で、「外国人技能実習生を活用するために」と題し、本年度第2回目の国際ビジネス研究会を10月14日に開催しました。

外国人技能実習生制度は、日本の優れた技能・技術・知識を発展途上国等へ移転し、各国の経済発展を担う「人づくり」を目的に創設された制度ですが、深刻な人材不足を補う「労働力の補填」としても活用されています。

当日は、外国人技能実習生の受入機関（監理団体）と送出機関からそれぞれ説明を受けた後、実際に県内で同制度を利用して実習生（ベトナム人）を受け入れている企業から事例の紹介がありました。

同制度は大企業のみならず、地域の中小企業でも充分活用できるものであり、来年には受入期間の延長や対象職種追加などが予定されています。

「第11回古町音楽祭」開催！

古町音楽祭実行委員会（主催…新潟中心商店街（協）・新潟商工会議所）は、10月12日、古町通5番町の特設ステージで第11回となる古町音楽祭を開催しました。

このイベントは、古町で新しいアーティストや音楽を発掘し、商店街のイメージアップとまちなかの活性化を図

ることを目的に始まりました。

今回は31組の応募があり、厳正なる予選審査を勝ち抜いた10組が本選に出場し、「吉井ミキ」さんが見事グランプリに選ばれ、賞金10万円を獲得しました。

グランプリに選ばれた吉井さんは、今後、古町でのイベント等への出演が予定されるほか、楽曲は古町商店街で流されます。

今回は特に古町への想いを込めて作られた楽曲が多く、会場は大いに盛り上がりました。



グランプリ曲を歌う吉井ミキさん

女性会「全商女性連石川全国大会」に参加

10月22から24日の3日間にわたり、第47回全国商工会議所女性会連合会石川全国大会が、いしかわ総合スポーツセンターにおいて、総勢3,237名の参加で盛大に開催されました。当所女性会からは、竹林昭代会長をはじめ

18名が参加しました。

初日は、ANAクラウンプラザホテル金沢他3会場において懇親会が開催され、金沢芸妓素囃子、御陣乗太鼓など郷土芸能が披露される中、全国各地の女性会と親睦を深めました。

2日目の全国大会は、日商三村会頭より「環境変化に対応するためには、女性の柔軟かつ大胆な発想と実行力が不可欠である。各地の女性会においては、経済、政治、文化など様々な分野における女性の活躍を推進してほしい」との挨拶がありました。

その後、女性起業家大賞授賞式、全商女性連表彰授与式等が執り行われ、当所女性会からは、会員増強の実績や県内女性会活動の推進などから、竹林会長が特別功労者として表彰されました。最後に、次回開催地である徳島女性会へ連合会旗が引き渡されました。



特別功労者の表彰を受けた竹林会長と女性会メンバー